

○コロナ対策は、今が正念場

コロナウイルスによる感染が第3波を超える勢いで拡大しています。感染力の強い英国型など変異型のウイルスの確認数が、三重県では直近の検査で、感染者の9割を超えたということです。変異型の感染者数が少ない初期の段階で、徹底的な水際対策と接触者の検査をして、陽性者を隔離することを徹底すべきでした。筑波大学の倉橋教授がAIで予測した結果では、変異ウイルスによって、このままでは第4波が収まらず、7月、8月にかけて感染爆発を起こす可能性もあるそうです。AIの予測は厳しく、全国の一日当たりの患者数は、1万人を超えるという数字に背筋が寒くなります。病院の体制は、ことごとく崩壊します。

政府はまず、感染根絶、その上で経済の回復という順番を国民に納得してもらうことです。その為にも、打撃を受ける産業に対しては、きめ細かい資金の給付で徹底的に救済する。一時休業しても商売の持続は可能だと思ってもらうことが大事です。政府担当者は、広い見地から情報を集め政策を実行するためにも、現場の声にもっと耳を傾ける必要があります。AIの予測では、ワクチンの接種も、全てを高齢者からとするより、一部は、高齢者や高リスク者と同居する家族や、介護・高齢者施設従事者、これまでのクラスター発生箇所に関連する施設などへの接種を優先させることで、感染拡大を抑え重症化率を下げる可能性も指摘されています。また、そのような施設に定期的に検査を入れていくことでクラスター化する前の早い段階での対策も可能になります。立憲民主党ではゼロコロナを目指し、引き続き政府にしっかりと提言をしていきます。

また、コロナの感染拡大で地元の皆さんと直接お会いしての懇談会を持ってない中、職場や仲良しグループなど、少人数グループでのWEB懇談会を開催しています。詳細は三重事務所までお問合せください。

○国会での中川の挑戦

国会も後半になってきました。私は、自分の課題としている政策の実現のために、いくつかの議員連盟を設立して、議員立法として成立させてきました。これらの法律を、実のあるものとするためには、法律にもとづく施策をすすめ、時には法改正をする必要があります。中間の議員と共に、他の議員や関係省庁の担当者たちに説明をし、より実効性を高める努力をしています。

3年前に成立した「政治分野における男女共同参画推進法」では、各項目で示されるところが、責務ではなく努力目標であるため、効果がもう一つなのではないかという指摘があります。各項目を義務化するために、法改正をすることにしました。

腰の重かった自民党の中もやっと動き出してくれたので、改正案を国会に提出する目的は、立ってきました。

2年前に成立した「日本語教育の推進に関する法律」に基づいて、日本語教師の資格創設と日本語教育機関(日本語学校など)の類型化についての法整備を進めています。現状は、法律に規定された「学校」ではない日本語学校や日本語教室を、文部科学省の管轄する教育機関として、質の保証と将来の外国人人材育成のための基本組織として位置づけようとする法律を作ろうとしています。

「教育における情報通信(ICT)の利活用促進をめざす議員連盟」では、1人1台のタブレットの普及を進めてきました。今後の課題は、これを活用して、いかに教育の質を上げるかということです。例えば、教科書の無償化を前提とすれば、電子教科書も無償ということにするために、予算が確保できるか。電子教科書を様々な工夫で使いやすくすれば、紙の教科書とは機能が違って来る。検閲をどうするのか。私はこの際、先進諸国並みに検閲はしないという議論に導きたいと思っています。

中でも、最近、重要な課題として動き出してきたのが、議員外交です。民主化のプロセスが徐々に進み始めてきたミャンマーで、軍によるクーデターが起り、軍が自国民に銃を向けています。米中の対立激化の中で、中国の人権問題が再び取り上げられ、香港、新疆ウイグル、南モンゴル、チベット等の残虐な弾圧が目目されます。また、北朝鮮の拉致はもちろん、自国民への抑圧も続いています。私は、「ミャンマーの民主化を支援する議員連盟(超党派)」の会長や「北朝鮮の難民と人権に関する国際議員連盟」の共同議長などの活動を通じて、日本の外交に、平和構築という理念と同時に、もう一つ、人権という背骨を作るべきだと考えてきました。先日、世界の様々な紛争や人権問題に関心のある議員が集い、改めて野党の合同で、「人権外交」を推進する議員連盟を立ち上げました。早速、ミャンマー問題の国会決議を目指しています。また、この議連では、海外だけでなく国内にも目を向けて、難民の受け入れ、国際的な人権条約などにある特定の条項の批准、ヘイトスピーチの解消など、日本が人権を語るに相応しい国柄を作ることも目標にしています。

○党員・サポーターズ(協力党員)募集中

立憲民主党の党員・サポーターズを募集しています。私は、野党分裂後の再編を経て、この党を育て、自民党に対峙する野党の要としていきたいと思っています。どうか、皆さんのお力をお貸しください。三重事務所(電話:059-381-3515)にご連絡いただければ、必要書類を秘書がお届けするか、郵送いたします。また、すでにご登録下さった皆様、ありがとうございます。